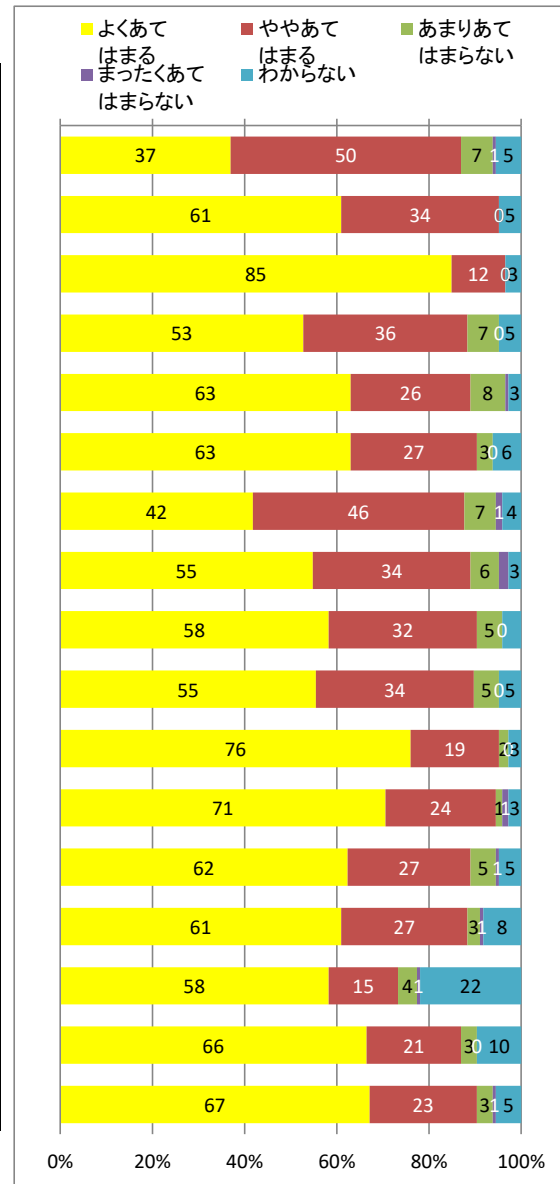


前期

学校評価 令和5年(7月実施) 生徒アンケート報告 回収率94%

西条市立東予西中学校

No	質問内容
1	学年に応じた基礎的・基本的な知識・技能を身に付けていると思う。
2	自分と同じように、相手のことも大切にしている。
3	他人の人権を侵害する行為（相手のいやがること）は、どんな理由があっても行ってはならないと思う。
4	お互いの人格や個性を尊重し、自主的に何事にも自分を高めようと努力している。
5	部活動（クラブ活動）に自ら進んで意欲的に取り組んでいる。
6	部活動（クラブ活動）では、きまりを守ることの大切さを考えたり、精神面や技術面、体力面での向上を感じたりする。
7	自分で判断し、決定し、実行する力が高まっている。
8	家庭や学校、地域で自分から進んで元気の挨拶ができています。
9	授業では、体験的な活動や話し合い活動が積極的に取り入れられていて、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。
10	授業では、調べて自分の考えをまとめたり、話し合いをしたりする場面で、効果的にタブレットを使っている。
11	道徳の時間や学級活動の時間で、人権の大切さについて計画的に学習している。
12	道徳の時間は資料などを使って計画的に授業が展開され、指導にも工夫がある。
13	学校では、自分の将来や生活の仕方を考えることができる時間や活動が充実している。
14	学校は、教育相談やアンケートなどを実施して、悩みごとや相談ごとをよく聞いてくれる。
15	学校は、いじめなど私たちが困っていることについてよく助けてくれる。
16	学校は、計画的に安全教育や安全指導を行い、いざというときに的確な行動ができるように指導してくれている。
17	学校は、みんなで協力して意欲的に取り組むことができる体験活動や行事を積極的に取り入れている。



肯定意識 (7月)	肯定のランキング
87	15
95	2
97	1
88	13
89	9
90	5
88	14
89	9
90	5
90	8
95	2
95	4
89	9
88	12
73	17
87	15
90	7

考察と改善策

・問2、3より、相手の気持ちを考えて行動することができる生徒の割合が高い。人権尊重の精神を基盤とした人権・同和教育を推進していることの成果が、問11、12の回答にも表れている。今後も人権・同和教育、道徳教育の充実に努めていきたい。

・問15では、肯定意識が7割を超えているものの、困っていることについてもっと助けてほしいと感じている生徒もいることが分かる。全教職員が親身になって支援できるよう努めていきたい。

・問1では、肯定意識が8割を超えているものの、学年に応じた基礎的・基本的な知識・技能の定着と向上を望んでいる生徒もいることが分かる。ICTを効果的に活用したり、協働的な学びを充実させたりすることで、学力の定着と向上に努めたい。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	わからない	
1	37	50	7	1	5	100
2	61	34	0	0	5	100
3	85	12	0	0	3	100
4	53	36	7	0	5	100
5	63	26	8	1	3	100
6	63	27	3	0	6	100
7	42	46	7	1	4	100
8	55	34	6	2	3	100
9	58	32	5	0	4	100
10	55	34	5	0	5	100
11	76	19	2	0	3	100
12	71	24	1	1	3	100
13	62	27	5	1	5	100
14	61	27	3	1	8	100
15	58	15	4	1	22	100
16	66	21	3	0	10	100
17	67	23	3	1	5	100